

「（仮称）豊田市商業活性化プラン 2025～2029（案）」における意見募集結果の公表

1 実施期間

令和6年12月9日（月）から令和7年1月9日（木）まで

2 意見総数・内訳

提出数 意見通数 8通（あいち電子申請・届出システム4通、持ち込み1通、郵送1通、Eメール2通）
意見等総数 11件 ※ 一人で複数の意見を出された方がいるため、提出数の合計と一致しない

3 意見の内容と回答案

主な意見（要約）	豊田市の考え方	対応する施策等
買い物や飲食だけでなく、遊べるエリアが駅前に不足していると感じる。特に学生視点が抜け落ちている。将来の消費者・商売の担い手になる若者が駅前で遊べないのは大きな問題である。 中心市街地には起爆剤となる店舗（テナント）が必要であるが、それ以前に既存の店舗（テナント）が撤退しない方策が必要である。 ※特定の店舗・施設等の立地に関する要望 豊田市駅周辺の商業地域がさびれており、今のままでは、シャッター商店街化してしまう。老若男女問わず、全ての豊田市民・周辺自治体住民が、買い物・食事で集まる地域にしてほしい。そのためには、イベントの開催頻度を上げることや駅前の商業施設に新たなテナントを呼び込むことが必要である。 中心市街地では事業主の高齢化が進んでおり、家族に事業承継することなく、閉店してしまう事業主もいる。表面的な施策だけでは悪化するばかりであり、このような本質的な課題から目をそらさずに取り組んでいただきたい。 大型商業施設を誘致してほしい。 地域で使える商品券を市民に発行して欲しい。 概要版から目的と主な方針のみではなく、期間から位置づけ、背景、現行プランの評価、現状課題とそれに対応する施策まで読み取れたので、あとは実行してほしい。 現行のプランでは、新型コロナ感染症の影響により、いろいろな補助金等の支援はあったものの、現在に至っても廃業する事業者が多い。豊田市を良くしたいと思う住民はたくさんいるので、いろいろな市民の声を聴くといいと思う。 駅周辺の発展は、駅を利用する人が多い地域に民間事業者が投資を出店することで、更に発展をしていくものである。自治体は民間事業者が投資をしたくなる環境を整備すべきで、利用者や出店者の視点に立ったフリーパーキング制度の見直し、バスの本数の減少、企業や行政機関、大学誘致など、駅の乗降客数を増やす施策が必要ではないでしょうか。 新型コロナ以降、市内のホテル・旅館が閑散としている。豊田市の観光資源を有効活用、新規開発・発掘し、豊田市での宿泊者を増やして、豊田市全体を活性化させるべき。	豊田市中心市街地活性化基本計画に基づいて、中心市街地の大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するように、各店舗のターゲットやコンセプトを共有しながら、テナントミックスを推進して参ります。 なお、本プランでは、基本施策「中心市街地の商業・サービス業の立地促進」において、中心市街地の拠点となる商業・サービス機能の誘致等を支援して参ります。 豊田市中心市街地活性化基本計画に基づいて、新たな住宅供給や商業機能の充実、民間の参入・再投資などを推進する施策に取り組むことで、中心市街地の活性化を図って参ります。 基本施策「中心市街地の商業・サービス業の立地促進」において、中心市街地の空き店舗や公共的空間等を活用して、事業にチャレンジできる環境を整備するとともに、重点施策「創業しやすい環境の形成」において、多様な起業・創業を促進していくことで、中心市街地の商業を活性化させて参ります。 本プランは、豊田市商業振興条例の理念のもと、市内事業者等を主体とした商業振興施策を展開するための計画と位置付けております。なお、大型商業施設の立地は、土地利用規制などの各種法令や交通及び既存の商業店舗への影響などが及ぶため、慎重な合意形成を図る必要があると考えております。 「豊田市商店街等プレミアム付き商品券発行事業」の効果を分析しつつ、景況に応じて事業の実施を検討して参ります。 本プランでは目標達成指標を設定しており、計画期間中は施策の進捗状況を管理するとともに、商業振興委員会において点検等を行うこととしています。また、進捗状況に応じて取組の見直しを行い、改善を図ることで、目標の達成を図ります。 本プランを策定するにあたり、市民を対象としたアンケート調査や商業・サービス事業者を対象としたアンケート及び聞き取り調査等を行って、本市の商業環境の現状分析を行いました。ご意見にもあるとおり、今後も市民や事業者の声を聴きながら取組を推進して参ります。 豊田市中心市街地活性化基本計画に基づいて、中心市街地の都市・交通機能の整備を進め、多様な人が集う空間を構築して参ります。 なお、本プランでは、中心市街地を市民がショッピングや飲食を楽しむことができる場所として位置付けており、エリアマネジメントやプレイスメイキングによる商業・サービス業の出店やチャレンジを促進して参ります。 豊田市観光実践計画において、宿泊者数の増加を目指しており、観光資源の活用も取組のひとつとして位置付けております。 なお、本プランでも、基本施策「商品・サービスの高付加価値化」において、商品・サービスの開発や磨き上げ並びに販路拡大などの支援を行うこととしており、本市の観光資源と成り得る商品・サービスの創出も意識して取り組んで参ります。	柱1 商業環境の整備 中心市街地の商業・サービス業の立地促進 豊田市中心市街地活性化基本計画 柱1 商業環境の整備 中心市街地の商業・サービス業の立地促進 柱2 支援体制の強化 創業しやすい環境の形成 第1章 豊田市商業活性化プラン 2025～2029の概要 柱1 商業環境の整備 商店街の商業機能の再生 第6章 豊田市商業活性化プランの推進 第3章 本市の商業の現状と課題 柱1 商業環境の整備 中心市街地の商業・サービス業の立地促進 柱3 商品・サービスづくりの促進 商品・サービスの高付加価値化